

この度の新型コロナウイルス対応の御礼とお願ひ

この度は、本校の新型コロナウイルスに対する対応に、当該学級の子ども達・保護者の皆様をはじめとして、安井校の子ども達、保護者・ご家族の皆様、地域の皆様には、多大なるご心配とご負担をおかけいたしました。

本日より、当該学級の閉鎖を解き、子ども達も登校してくれました。今朝は当該学級の子ども達の顔を見て、お礼とお願ひの話をしに教室に行きました。内容は次のようなものです。

- ・心配な気持ちや不安な気持ちにさせて申し訳なかったです。
- ・しかしながら、まだお休みの友達や、心配で休んでいる友達もいる。
- ・みんなが、その人の立場になった時のことを考えてほしい。
- ・勇気を振り絞って学校に来てくれた時、何よりも支えになるのはみんなの笑顔。
- ・避けるべき相手は、しんどい思いをしている友達ではなくコロナです。
- ・お互いで元気づけて、感染対策を続けながらコロナに立ち向かってほしい。

子ども達は、静かにしっかりと話を聞いてくれました。中にはうなずきながらじっとこちらを見てくれている子もいました。

しかしながら、未だ不安を抱えている子どもやご家庭もたくさんあります。学習保障や安心できる環境の整備など、学校が今できる範囲でサポートしていきたいと思います。

ただ、学校の姿勢として、人権を守るために、個人情報でもある健康上の情報は、むやみに公開はできません。我々が業務上知り得た情報に関しては守秘義務があります。今回のような直接学校に関わる感染の恐れがある場合は、もちろんすぐに可能な範囲で情報発信はいたしますが、個別の事案（疫学調査等で学校における感染の可能性がないと判断された事案）に関しては、たとえ保護者などから情報が入ったとしてもお伝えをすることはできません。何卒、ご理解くださいますようよろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルスに感染するリスクは誰にでもあり、感染した本人や周りがつらい思いをすることは、何があっても許されないことです。子どもたちには、差別・偏見や誹謗中傷につながる言動を行ったり、それに同調したりしないよう、またSNSや噂話などの不確実な情報に惑わされることのないよう指導を行ってまいります。感染・濃厚接触という辛い思いをした人を温かく見守り、受け入れる思いやりのある行動が求められることについて、保護者の皆様におかれましても、十分にご配慮いただくとともに、お子様へのお声かけなどしていただければと心より願っております。

学校としても、引き続き子ども達をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様、教職員の心身の健康と心の安心・人権を最優先に考えてまいります。私の話にうなずきながら聞いてくれた子ども達の瞳を曇らせないよう、澱んだ今の風潮に流されず、子ども達を取り巻く我々大人から気を付けていかないといけないと考え、合わせて皆様のご協力も賜りたく存じます。何卒、ご理解・ご協力くださいますようよろしくお願ひいたします。

京都市立安井小学校
校長 谷垣 賢